

# みらいん

たいはく

「みらいん」は、  
震災からの復興に向けて  
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の  
今を結ぶ情報紙です。

第 13 号



◀ 仮設住宅で行われた防災訓練に参加。この日ははつらつと活動していました

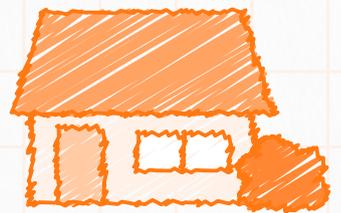
今月の  
ひと

親分肌で人情味あふれる好々爺

## あすと長町仮設住宅の“相談役”

### 震災で多くを失いましたが、たくさんの仲間もできました

あすと長町仮設住宅に住む鈴木良一さんは、知る人ぞ知る名物おじいちゃん。明快な語り口調と面倒見の良さで親しまれ、過去さまざまなメディアにも登場し、仮設住宅の現状や被災者の気持ちなどを世間に訴え続けてきました。震災時、自身は外出中で津波被害に遭いませんでしたが、思い出が詰まった自宅は流失。「家が無いのは覚悟していたけど、なかなか見に行く気にはなれなくて。意を決して見に行ったら…やっぱり、きれいさっぱりなくなっていたよ」すべてを無くしてしまった鈴木さんは、昨年5月に仮設住宅へ入居。前向きな気持ちを忘れず、積極的に外へ出てたくさんの人と接するよう心がけました。徐々に顔見知りも多くなり、少しずつ仮設住宅内にも活気が出てきましたが、入居者が増えるにしたがい、住民同士のトラブルが頻繁に起こり始めたとのこと。住環境ぐらいいは、自分たち自身の手で改善したいと思い立った鈴木さんは、仲間と一緒にあすと長町運営員会を設立。仮設住宅内の秩序づくりに貢献しました。現在は役員からも引退し、悠々自適の生活を送る毎日。鈴木さんのいま一番の願いは「早く“終の棲家”が決まって、夫婦2人でのんびり暮らしたい」だそうです。



2012

12月

# 自立へ向けて

生活再建にあたり、住宅の問題と併せて重要視されている就労の問題。  
「経験が足りない」「年齢制限が心配」など、求職者が抱える問題はさまざまです。  
そこで今回は、就労支援に取り組む団体をご紹介します。

## あなたに合った相談先は??

各支援団体の特徴をご紹介します。  
「どこに行けばいいの?」とお困りの方、参考にしてください。

### ■ お仕事探し応援センター

- 市内に住む 15~60 歳の被災者の方
- 自宅周辺など、相談場所を選びたい方
- 就職活動を何から始めていいかわからない方

### ■ 宮城県シルバー人材センター連合会

- 55 歳以上の方
- 完全無料で技能を身につけたい方
- 同じ目標を持った同年代の仲間を見つけたい方

### ■ ハローワーク仙台 (仙台公共職業安定所)

- 働く意欲のあるすべての方
- 雇用保険受給の手続きをされたい方
- 雇用保険などを受給しながら、技能を身につけたい方

### ■ 就労支援相談センター「わっくわあく」

- 働く意欲のある被災者の方
- 生活のサポートも希望する方
- 職業体験実習などで、少しずつ働くことに慣れたい方

## ハローワーク仙台 (仙台公共職業安定所)

求人情報 職業紹介 雇用保険 職業訓練 個別相談

ハローワーク仙台では、求人情報の提供および職業紹介の他、雇用保険業務などを行っています。各種支援については、求職申し込みの上、ご相談ください。全国各地のハローワークと情報を共有しているので、ハローワーク仙台以外で求職登録をしている方も仕事の相談が可能です。個別の職業相談やカウンセリングで、求職者の就職活動をさまざまな面からサポート。職業訓練の受講案内や申し込み受け付けもしています。

求人票閲覧だけでも、お気軽にどうぞ

### 職業訓練って?

職業訓練とは、仕事に必要な技能や知識を習得する訓練のことです。ハローワークでは希望職種に就くための訓練科目や施設を案内しています。雇用保険を受給しながら受講できる「公共職業訓練」のほか、雇用保険を受給できない方も職業訓練受講給付金を受給(要件あり)しながら受講できる「求職者支援訓練」があり、受講料は無料です(テキスト代・各種試験受験料は別途)。

### 専門家による個別相談を毎週実施しています

- 月曜日…税金関係の相談(担当:税理士)
- 水曜日…社会保険関係の相談(担当:社会保険労務士)
- 金曜日…メンタルヘルスの相談(担当:臨床心理士)
- いずれも電話にて要予約(求職中の方に限ります)



▲パソコンで求人情報を調べながら、企業について相談中

### ハローワーク仙台

宮城野区榴岡 4-2-3  
仙台 MTビル 3・4・5 階  
TEL 022-299-8811  
業務取扱時間  
8:30~17:15  
(土日祝日、12/29~1/3 休み)

ハローワーク仙台  
統括職業指導官の  
加藤雅敏さん(写真右)  
石垣博之さん

出張相談も  
しています

## お仕事探し応援センター

出張個別相談 セミナー

NPO 法人 POSSE が運営するお仕事探し応援センターでは、必要な場合はご自宅への戸別訪問による相談も行っています。生活面の不安から、将来のキャリアプランまで、多岐に渡り相談に応じています。ゲーム感覚で働き方を学べるセミナー「ジョブクラブ」も月に1度開催しています。



▲履歴書の書き方なども相談に応じています

### 支援事例の紹介

Aさん(20代、シングルマザー、市外から転居)の場合 Aさんは子どもの預け先がなく、求職活動もままならない状態でした。相談を受けたセンターでは空いている保育園をAさんに案内し、その後、ハローワークの所在地や求人票の取り方など求職活動のアドバイスをして、就職することができました。

### お仕事探し応援センター

青葉区本町 1-14-20 本町キクタビル 6 階  
TEL 022-266-7630  
受付時間 9:00~18:00  
(土日祝日、12/29~1/6 休み)

お仕事探し  
応援センター  
事務局の  
渡辺寛人さん

## 就労支援相談センター「わっくわあく」

求人情報 職業紹介 個別相談 生活支援



▲プライバシーを大切に、担当員が親身に相談に応じています

「わっくわあく」は、子ども支援やホームレス支援などを行っていた12のNPO法人で構成されている一般社団法人パーソナルサポートセンター(PSC)が運営しています。構成団体の専門性を活かし、相談者の状況に合わせて幅広くサポート。生活再建や仕事探しの相談の他、求人情報の提供と紹介も行っています。

### 手仕事・就労体験をサポート

PSCが運営するコミュニティワークサロン「えんがわ」では、就労準備段階の支援を行っています。手仕事や就労体験を通して、少しずつ働くことに慣れることができます。

### 就労支援相談センター「わっくわあく」

青葉区二日町 6-6 シャンボール青葉 2 階  
TEL 022-395-6323  
相談時間 9:30~12:00 / 13:00~16:00  
予約受付時間 9:30~17:00  
(土日祝日・年末年始(日程未定) 休み)

生活面も  
サポート  
します

わっくわあく  
スタッフの  
白岩徹さん

## 55 歳からのやる気を 応援しています

宮城県シルバー人材センター連合会では、55 歳以上の方を対象とした、受講料・テキスト代無料の資格・技能習得講座、就業体験などの講習会を開催しています。同年代が集まっているので仲間ができやすく、過去には受講生たちが集まって起業したこともあるそう。受講にはハローワークでの求職登録が必要です。



▲訪問介護員2級養成研修の様子。講師の先生の見本を受講生は真剣な眼差しで見つめます

## 宮城県シルバー人材センター連合会

無料講習会

### 仙台市シルバー人材センター

連合会に所属する仙台市シルバー人材センターは、高齢者の生きがいづくりを目的として、会員の方に筆耕や除草など臨時的・短期的な仕事を紹介しています。年会費は2,000円で、対象は仙台市内に住む60歳以上の方です。入会説明会を開催していますので、日時等はお問い合わせを。  
問 仙台市シルバー人材センター TEL: 022-214-6262

### 公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会

青葉区本町 1-13-19 クリスタルパレス第 2 本町ビル  
TEL 022-797-8035  
業務時間 9:00~17:15 (土日祝日、12/29~1/3 休み)

## セミナー・イベント情報 仙台市内で開催される無料のセミナー・イベントをご紹介します。

### キャリア・コンサルティング

職業やキャリアについて、専門のカウンセラーによる個別相談を開催しています。  
※就職のあっせんではありません  
日時 12月18日(火) 10:00~18:00 場所 仙台市情報・産業プラザセミナールーム1AB  
対象 仙台市内在住、または市内に就職を希望する方 定員 28名  
申し込み締め切り 12月11日(火) 必着  
申し込み方法 申込書に必要事項を明記の上、郵送・FAXまたはEメールでお申込みください。  
申込書は、各区役所、事業団ホームページおよび事務所で配布しています。  
問い合わせ・申し込み先 公益財団法人仙台市産業振興事業団  
〒980-6107 青葉区中央1-3-1AER7階 HP <http://www.siip.city.sendai.jp>  
TEL 022-724-1212 FAX 022-715-8205 E-MAIL [koyoushien@siip.city.sendai.jp](mailto:koyoushien@siip.city.sendai.jp)

### シルバーのための合同就職面接会

正式応募前の仮面接会です。気になる企業と直接話ができるチャンス!  
日時 2013年2月14日(木) 13:00~16:00  
場所 ネットU仙台市情報・産業プラザ AER5階(多目的ホール)  
対象 55歳以上の方  
定員 制限なし ※申し込みは不要です。  
問い合わせ先 公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会  
TEL 022-797-8035

6日(土) 皆で芋煮を堪能



みちのくボランティアが主催する芋煮会が、あすと長町仮設住宅内の中央広場で開催。秋晴れの澄みきった青空のもと、牛肉たっぷりの山形風芋煮を満喫していました。

8日(月・祝) 仮設ペイント現場に遭遇!

ペインターの山田大輔さんの作業現場に遭遇しました。遊び心のある絵で仮設住宅を彩る山田さん。10号棟の壁面にあみだくじを描いていました。



10日(水)

借り上げ民間賃貸住宅入居者の作品展



仙台市福祉プラザで開かれた借り上げ民間賃貸住宅入居者の方の作品展。作者のメッセージと共に飾られた絵や小物などの作品に、訪れたお客さんは見入っていました。

13日(土)

長町商店街バザーに出店

色葉工房が主催する「糸あそびの会」に参加している皆さんが、自らの作品を長町商店街のバザーに出店しました。毛糸で編んだティッシュケースや小物入れなどを販売。参加した方は、お客さんとのコミュニケーションを楽しんでいました。

16日(火)

NTT社宅でふれあい喫茶開催



NTT三神峯社宅で、みやぎ生協がふれあい喫茶を開きました。イベントには初参加という方が多く集まり、「はじめまして」という声飛び交います。「いつも見かけていたけど、名前は知らなかった」「今度会ったら声かけるわね」と、和やかに交流を深めていました。

19日(金)

イベント目押し

定期的開催されているおしるこカフェ。今回は関東風の雑煮も振る舞われ、参加者の皆さんは一足早くお正月気分を味わいました。その他、東北弁語りやアーティストによる似顔絵制作、カラオケなども行われ、盛りだくさんのイベントとなりました。

19日(金)

刺繍名人発見!



あすと長町仮設住宅にお住まいのちみちゃんが、仮設住宅壁面のペイントをモチーフにした刺繍作品を見せてくれました。タイトルは「びーちゃん」です。

20日(土) 秋祭り

小春日和の中、あすと長町にあるグループホームなつき塾で秋祭りが開催されました。利用者のご家族やあすと長町仮設住宅にお住まいの方も参加。職員による踊りや手づくりのゲームで盛り上がり、最後は皆で美味しい芋煮をいただきました。



21日(日) コンサートで大盛り上がり

大阪で活動するソウル・ゴスペルシンガー新井深絵さんのコンサートが開かれ、迫力ある歌声に観客の皆さんは大興奮! アンコール後、イベントが19時から始まったこともあり、「もう寝る時間やん」と新井さんが言うと、客席から「今日は寝ない!」との声。アンコールは2曲目に突入しました。



22日(月) 折り紙教室

東北大学の主催で行われた折り紙教室。はじめは1枚の折り紙から2羽の繋がった鶴をつくることに挑戦です。「あれ、おらの2羽じゃなくて3羽できたと」。ミラクルが起きました。

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建...。沿岸部にお住まいの方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

東六郷移転推進協議会

種次中野地区にお住まいの方が中心となり、浸水区域から六郷地区への集団移転に向けて先駆的に活動しています。

11月11日(日) 定例会議

- 移転地の開発について仙台市との協議内容報告
- 開発手続きフロー図の確認

「集団移転計画書の作成、提出」、「仙台市の独自支援策である利子補給の受給時期」、「移転先である市街化調整区域の開発に関する許可」の3点について、仙台市との協議内容が報告されました。開発手続きの確認では、フロー図を用いた計画書の提出から建築完了、補助金の受給までの流れが確認されました。また、今後について、それぞれの資金計画のすり合わせや、仙台市を交えた協議を進めることなどが話し合われました。



▲移転計画の具体的な流れがみえてきました

問い合わせ先: 代表 落合義光 090-4882-3368  
定例会議: 随時開催

新浜復興の会



新浜の新たなまちづくりを検討する現地再建グループと、上岡田・久保野地区への集団移転を目指す移転再建グループが、それぞれの復興を果たすべく活動しています。

▲多くの参加者が駆け付けた会合。意識の高さが伝わってきます

10月27日(土) 上岡田・久保野地区へ移転希望グループ会合

- これまでの地権者とのやりとりの流れを報告

移転グループ執行部が移転候補先である上岡田地区の地権者側に出向き、数回ほど協議の場が持たれていることが、リーダーから報告されました。地権者の方々には将来の構想を含めたもの(先発の22区画より広範囲な開発)を期待しているため、久保野地区の東側に開発の余地を残して移転計画を進めるのが良いだろう、と話がありました。「現段階では22区画分で話を進め、先のことは地権者に委ねるのが良いのでは」という声も上がりました。

移転再建グループ問い合わせ先: リーダー 瀬戸健介  
復興の会の問い合わせ先: 代表 遠藤芳広 090-2020-4002

中野小学校区復興対策委員会

中野地区4町内会(港・蒲生・西原・和田)が一丸となり、復興に向けた活動を行っています。

11月4日(日) 第32回復興対策委員会

- 復興事業局から、防災集団移転促進事業の進捗報告と質問への回答

・荒井公共区画整理地区48宅地の申込受付は11月11日から、抽選日は12月16日  
・仙台港背後地区の申込受付は1月下旬から、抽選日は2月予定  
・仙台港背後地区は宅地数を増やすべく地権者には換地を売って頂けるよう交渉中で、仮に抽選に漏れても、市が整備する地区を第2希望地としている方の宅地は確保するよう調整中  
・市で整備した土地を購入する場合、支払われた購入費は市を通して国庫に返還する

委員から市側へ、残っていた建物を市の勧めによって取り壊したという方に対する配慮を、「もっと真剣に考えて欲しい」と要望がありました。毎回のように議論に上がるが、何度でもあきらめないで住民の声を伝えなければいけない、という声もあがりました。

問い合わせ先: 委員長 高橋實 022-258-3068  
定例会議: 毎月第1、第3日曜日16:00~  
鶴巻1丁目東公園仮設住宅集会所

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

● 早くも自宅を再建したという人の話を聞くと、気持ちが焦ってしまいます。でも、いい影響だと思って前向きに捉えないといけませんね。新しい土地に自分の家を再建し、日常生活を取り戻すことを考えて、一歩一歩進んでいきたいですね。 若林区/Sさん

● 普段会うことができなかった中野小学校時代からの友達とチャダンスをしています。チャアにはひとつのものを作り上げていく達成感があるんです。だからここ、福田町のチャダンスクラブは私にとって重要な出会いと活動の場だと感じています。 宮城野区/仲丸美里さん

● 仮設住宅で防災訓練がありました。炊き出しで「アルファ米」が振る舞われましたが、あのワカメ入りのご飯を見ていただけで、震災直後の避難生活を思い出してしまいました。なんだか胸が苦しくなってきました。あの記憶は簡単には忘れられませんね。 太白区/Tさん

読者から  
ひとこと

# レポート・近所ぶらり

## 柳生地区に残る 唯一の和紙工房

縦一尺強、横二・三尺。一般家庭の浴槽よりもはるかに大きな水槽の前に立つと、それまでにこやかに話していたおばあちゃんが「職人」の顔になりました。水槽には和紙の原料となる楮と、接着剤の役目を果たす植物「トロロアオイ」の粘液を溶かした水が張ってあります。中腰になり、竹ひごの簾を挟んだ漉き枠を両手で持って水中へ。ジャブ、ジャブと穏やかなリズムを刻むこと約三十秒。「はい一枚」。流れるような手さばきで、風合い豊かな「柳生和紙」が漉き上がりました。



佐藤さん宅に連なる「柳生和紙工房」。昭和の風情を残した建物で、伝統の技は受け継がれています

太白区柳生の「柳生和紙工房」は、周囲に田んぼや畑が広がる田園地帯



中腰の姿勢で紙を漉き続けるふみゑさん。「柳生では最後の一軒、多少腰が痛くても注文をほかの家には回せないのよ」

にあります。営むのは佐藤平治さん、ふみゑさん夫妻。自宅続きの工房で、楮の下準備から紙漉き、乾燥までを一貫して行い、完成品は包装紙や便せんなどとして卸すだけでなく直売もしています。

柳生が和紙産地になったのは約四百年前。水が豊富で山からの風が紙の乾燥に適していることから、仙台湾藩主伊達政宗公が福島県から職人を呼び、住ませたのが始まりとされています。最盛期の明治から大正にかけては、地区全戸約九十戸が和紙づくりに従事。当時は障子やちようちん、傘など、和紙は暮らしになくてはならないものでした。しかし

## 地域に愛され世界にはばたく伝統の和紙

その後、機械生産が主流になると和紙づくりをやめる家が相次ぎ、昭和四十年代以降、柳生和紙の伝統を受け継ぐのは佐藤さん夫妻一軒だけとなりました。ふみゑさんは十九歳で嫁ぎ、会社勤めの平治さんに代わって佐藤家九代目の和紙職人となりました。往時は毎月六千枚を量産。八十四歳を迎えた今でも毎月三千枚は漉いていきます。トロロアオイも自家栽培。平治さんはふみゑさんが漉いた紙を手際よく重ねたり、重石を乗せて脱水したり、漉き以外の工程を支えます。

取材にお邪魔したときは、東京の洋菓子メーカー特注のグレーと茶の二色の和紙づくりに挑んでいました。染料は竹炭の粉と玉ねぎの皮。天然素材へのこだわりと、その自然な風合いが、柳生和紙の高い評価の源です。「これでチョコレートをくるんでイタリアに輸出するんだっ



柳生和紙のハガキや封筒。最も手頃なのは包装紙で1枚200円から。絞り染めを施したものもあり、暮らしにどう生かすか考えるのも楽しい

て。そんな高級チョコ、食べたことないけどね」。茶目つ気たつぷりに笑うふみゑさんには「メイド・イン・ジャパン」の一端を担う気概と誇りが溢れていました。柳生和紙は、地元小・中学校の卒業証書にも使われ、毎年多くの卒業生が地域の手に触れて巣立ちます。地域に愛され、世界にはばたく柳生和紙。事前予約で和紙づくり体験もできます。皆さんも、仙台の伝統に合いに行きませんか。

「柳生和紙工房」  
住所：太白区柳生字上河原 32-1  
電話：022-241-3044  
アクセス：JR南仙台駅から車で5分。  
バスは柳生市民センター下車徒歩5分  
工房見学など、和紙づくり体験、紙の購入などは事前に電話で問い合わせを

# 情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

## 宮城・福島の被災地の現状を伝えるイベント「演劇&映画&トーク 今、被災地は!」

市民の立場から自発的に地域の文化活動を支援する「薊の会」が、宮城・福島の被災各地の現状を演劇や映画を通して報告する催しを行います。

**対象** どなたでも来場できます  
**時** 12月15日(土) 第1部13:30~16:45、第2部17:15~20:35  
**所** エル・パーク仙台 6階ギャラリーホール  
**内容** 第1部 福島県立相馬高校生徒の演劇「今伝えたいこと」、福島と石巻のドキュメンタリー映画上映、「石巻市復興を考える市民の会」と「NPO法人にじいろクレヨン」の活動報告  
第2部 若松丈太郎氏(南相馬市)ゲストトーク、ドキュメンタリー映画「原発切抜帖」上映、トークセッション、交流会  
**料金** 第1部、第2部 ともに各1000円(当日券各1200円)(高校生以下無料) 前売券はTEL・FAXで予約受付中  
**問** TEL&FAX 0229-67-2407 薊の会(穂積)

## 多重債務でお悩みの方はいませんか?

東北財務局では、専門相談員を配置し、自らの収入で返済できないほどの借金を抱え、お悩みの方からの相談に応じています。相談者の抱える借金の状況を丁寧に伺い、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。相談無料、秘密厳守。

**対象** 多重債務でお悩みの方(自営業者も含む)  
**時** 月~金曜日(祝日、12/29~1/3を除く)9:00~17:45  
**問** 東北財務局 金融監督第三課  
青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎4階  
022-266-5703(直通)、022-263-1111(内線3080)

## 子どものことで困難を抱える家庭を支援します

災害子ども支援センターでは、東日本大震災の発生により子どものことで困難を抱えるようになった家庭を対象に、さまざまな支援を行っています。

**対象** 被災されて困難を抱える家庭  
**支援内容** ①館内で様々な情報やパンフレットを掲示・配布②物資支援、バザー③子どもの一時預かり④開館時間内いつでも利用できるサロン⑤個別相談  
**問** 災害子ども支援センター  
宮城野区幸町4-7-2 みやぎいのちと人権リソースセンター内 022-292-5290 平日9:30~17:00

## 支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
ちくちく工房(お手玉づくり)	泉区のみなし仮設にお住まいの方	12月7日(金)	10:00~12:00	泉区中央市民センター	9月の黒松サロンで好評だったサロンの第2弾。手を動かしながらおしゃべりしましょう	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
あらまちサロン	若林区荒町地区にお住まいの被災者の方	12月12日(水)	10:00~12:00	荒町市民センター	トーンチャイム演奏茶話会	要(電話)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
雄勝サロン	石巻市雄勝で被災され仙台市に来られた方	12月14日(金)	13:30~15:30	宮城野区中央市民センター	茶話会	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
きまちハートふる「クリスマスシーリングコンサート&交流会」	木町通市民センター周辺にお住まいの方などなたでも	12月15日(土)	13:30~15:00	木町通市民センター	クリスマスコンサート、地域の方と一緒にレクリエーション交流会	要(電話)	支えあいセンター あおば 022-217-7234
ほのほの富沢サロン	富沢周辺のみなし仮設にお住まいの方	12月20日(木)	11:00~13:00	富沢市民センター	調理実習(豚汁とおにぎり)を皆で作ります	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

## あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所) ※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
12月7日(金) 9:30~16:00	高齢者ヘルスケア(マッサージ) ※集会所で予約受付中。当日OK	仮設住宅入居者	杜の都チームドルフィンドリーム 022-287-8222
12月8日(土) 13:00~16:00	心と体のカウンセリングルーム	仮設住宅入居者	東北大学 090-3548-7928(板倉)
12月15日(土) 13:00~16:00	陶芸教室 ※材料費1000円 事前申し込み不要	仮設住宅入居者	陶芸愛好会 090-4633-0331(渡邊)
12月11日(火) 10:30~12:00	仙台ほっとカフェ	仮設住宅入居者	仙台いのちの電話事務局 022-718-4401
12月11日(火) 13:30~15:30	遊びリレーション みんなで生き生きレクリエーション	仮設住宅入居者	太白区レクリエーション協会 090-5594-5008(中島)
12月12日(水) 10:00~12:30	お茶飲みパーティー	仮設住宅入居者	人來田生活学校 022-244-5236(高橋)
12月12日(水) 13:30~15:00	心の悩みを聴く おしゃべりとお茶の時間	仮設住宅入居者	仙台傾聴の会 080-3199-4481(森山/火・木・土曜日 9:00~17:00)
12月13日(木) 10:00~12:00	押し花アート	仮設住宅入居者	押し花アート幸の会 022-225-0424(浅倉)
12月17日(月) 13:30~15:00	懐かしのメロディーを楽しむ会	仮設住宅入居者	みやぎ音楽支援ネットワーク 090-2023-7487(楢原)
12月18日(火) 10:30~11:30	ふれあい喫茶	仮設住宅入居者	みやぎ生協仙塩ボランティアセンター 022-218-3880
12月18日(火) 13:00~15:30	華道部	仮設住宅入居者	ほほえみ花活隊 090-4643-7499(鈴木)
12月19日(水) 13:00~16:00	糸あそびの会	仮設住宅入居者	色葉工房 090-9072-2160(庄子)
12月21日(金) 10:30~12:00	健康相談会	仮設住宅入居者	太白区家庭健康課 022-247-1111(内線・6782/木村)

「この広い大きな家に長年住んで来たので、今の仮設住宅の狭さには耐えられなくて戻ってきた」と、津波が突き抜けて破壊されても、なつかしの我が家の大掃除をしてゐるご婦人がテレビのインタビューにこたへてをりました。

思へばあの敗戦後の焦土と化した日本。ほとどの家庭も貧しかったあの時代を経験してゐる人達にとっては、今の何もかも便利な恵まれた暮らし振り有難いと思はずにはゐられませぬが、ひもじさを知らずに育った新しい人々は今の生活が当たり前だとすると、被災によって一瞬にして豊かさからゼロどころか、マイナスの境遇への急転回ですから、身と心がその現実には追いついて行かないのではないかと、いざさか心配でもあります。

そんな人間の苦悩を一身に背負って、救つて下さるのがあの「観世音菩薩」だと世間では言ひ伝えられてをりますが、肝腎のお釈迦様はその悪い状況を好転させて皆を救済するなどは言つてをらず、私共の家の安全の祈りにはいつも「家内危険が裏打ちされてゐることを忘れちゃいけないよとおっしゃつてゐるのです。」

徳照寺 住職 佐藤和丸

### 佐藤和丸 (さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

## クロスワードパズル

出題  
石田竹久

こたえ

A	B	C	D
---	---	---	---

1	2	3	4		
A					
5		6			
7			8		9
		10			
			B		
	11		12	13	
14			15		16
	C				
17				18	
				D	

### タテのカギ

- ①仙台市のお正月といえばこれ。明けて2日から、福袋や特価品で大賑わい
- ②ギリシャ神話の最高神
- ③仙台市で生まれた環境保護ヒーローといえば、植樹〇〇
- ④仙台市で大晦日の料理に欠かせないのが、〇〇〇カレーの煮付け
- ⑥「注連縄」の読みは？ お正月に玄関などに飾ります
- ⑧仙台市の縁起物、青いことが特徴の〇〇〇〇だるま
- ⑨宮城県庁の組織で、中学校までの指導などを管轄する〇〇教育課
- ⑩2人で歌ったり、ピアノを2人で弾いたりすることを指して
- ⑬〇〇〇通りといえば、主要な繁華街のこと。仙台市では、光のページの会場にもなる、定禅寺通や青葉通がそうでしょう
- ⑭故事からの言葉。敵に〇〇を送る
- ⑮野暮の反対語。あか抜けていたり、人情があったり
- ⑯古く公家などが使っていた一人称

### ヨコのカギ

- ①仙台市で雑煮に欠かせないのが、焼き〇〇
- ③仙台市の歴代最低気温が-11.7℃。この「-」記号を読むと？
- ⑤通販といえば、〇〇〇〇販売の略
- ⑦目を細くして開けること
- ⑧東北地方の山間部で、古い猟法で狩りをする人
- ⑩俗に、仕事に必要な一揃いは、〇〇〇道具
- ⑪宮城県の旧国名は、近県と合わせて陸奥でした。では、現在の山形と秋田の2県にあたる旧国名は？
- ⑫ことわざ。鶴は千年、〇〇は万年
- ⑭ことわざ。〇〇に交われば赤くなる
- ⑮新年の干支、ヘビの文字を含んだ、〇〇〇〇市の金蛇水神社。仙台市に分祀があります
- ⑰仙台市で初詣といえば、やはり〇〇〇〇八幡宮が代表格
- ⑱東北新幹線、仙台駅から新青森駅までの距離は約350〇〇

### 前回のこたえ

A カ B ゼ C ヨ D ボ E ウ

でした。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	セ	ク	ラ	ノ	リ			
5	ク	リ		6	イ	ド	ウ	
	サ		7	カ	キ		9	ヤ
10	イ	ワ	デ	12	ド	ン	コ	
	13	サ	14	シ	ン		ウ	
15	ゼ	ン	16	ヨ	ト	17	ウ	
	18	フ	ク	19	ソ	20	ボ	

### 編集後記

気づけば暦は師走。今年は季節が足早に通りすぎているような気がします。急激な気温の変化についていけず体の調子はまいち。皆さんは万全な体調で年末年始を迎えてくださいね。(さいとう)

年の瀬ですね。新年最初の一言にはこだわりがあるのですが、今年は迂闊にも「エビの天ぷらうまい」で新年を迎えました。来年こそは素敵な一言で幕開けすべく、今から思案中です。(あつみ)

### お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部  
TEL：022-390-5755  
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mwww.or.jp